

12月定例会 (12/6~12/21...16日間)
 [本会議] 6日・21日 議案審議
 7日・8日 一般質問
 [常任委員会] 12日 総務経済 13日 文教厚生

今後10年の町の方針が固まる
 議決を経て
 第6次寄居町総合振興計画(*4)の策定

この議案の内容
 平成29年度から38年度までの10年間を計画期間とする総合振興計画基本構想とその前半の5年間を計画期間とする前期基本計画を策定するため、条例に基づき議会の議決を求めるもの。人口減少、少子高齢化が急速に進む中、10年後の未来に向かって町が目指す姿と、それを実現するための目標や基本方針、具体的な取り組みを示す基本構想や基本計画は、町の最上位計画であるため、議会の議決を要することから提案されたものです。



寄居町公式HP 第6次寄居町総合振興計画

議会から町へここを聞く(質疑)

一若い人の働く場、結婚につながる環境づくりは。

人口減少の要因では、若い人たちが町から出ていってしまうことが考えられる。雇用の場の創出、子育てしやすい環境づくりが大切と考え、目標や事業を策定した。

一高齢者の単身世帯が増える中、健康づくりや支えあう地域づくりは。

地域での取り組みが必要。介護予防・介護サービスを充実する施策の中で、地域包括ケアシステムの構築などで住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるよう推進したい。

賛成討論 変化に合わせた進行管理を
 大澤 博 議員

事業の効果検証や改善がしやすい計画ということです。町民の生活実態や意識の変化を把握した進行管理で、寄居に住んでよかったと発展させることを希望し、賛成します。

賛成討論 町の活力向上に期待が持てる
 中嶋文雄 議員

人口減少や少子高齢化の中、将来を見据えて町の活力や暮らしの魅力を維持・向上させる取り組みは、大きな期待が持てると思います。着実な計画推進を希望し、賛成します。

【ことば】(*4) 総合振興計画…長期的な展望に基づいて、まちづくりの将来目標を示し、総合的かつ計画的なまちづくりのために、各分野の計画指針を明らかにするものであり、町政運営の最も基本となる計画です。

文教厚生常任委員会

調査テーマへの皆さんの意見を聴かせてください



テーマ：スポーツ振興
 (健康づくり、生涯スポーツ)

テーマ：小中一貫教育

視察へ行ってきました

健全育成につながる活動を
 笠原則夫さん(男衾)

男衾柔道クラブは今年30歳を迎えました。この間200人を超える有段者を育て、オリンピック代表候補も数名輩出しました。引き続き後進の育成を続けるとともに、子どもたちの健全育成に協力していきます。夏場の稽古のため、網戸設置をお願いしているところです。



2月に視察に行きます！

定年後も仲間と健康づくり
 若林マサミさん(用土)

60歳で定年後、家にもってばかりでは…と考え、1人から仲間をつくり、町の広報誌をよく読み、催しに参加して人との交流を楽しむようになりました。今では、月曜日から金曜日まで出かけて楽しく健康づくりをしています。毎年、人間ドックは受診しています。



今後も子どもたちと成長して
 田中静雄さん(鉢形)

スポーツ少年団代表として、正面から向き合い、熱意をもって指導してきました。プロ野球選手も出るなど卒団生の活躍はうれしい限りです。少子化で団の運営も厳しいですが、今後も一緒に成長したいですね。運動公園グラウンドなどの整備もお願いしたいところです。



人との交流が健康づくりに
 平井キミ子さん(西部)

3B体操を月に2回。民踊は第1・第3水曜日。フラダンスは毎週、練習しています。人との交流が健康づくりに大変よいと思います。健康で、ぼけないようにしたいですね。人間ドックも受診していますし、「プラス1000歩運動」にも参加しています。



よい面も悪い面も説明を
 白石里奈さん(西部)

小中一貫教育では、「中一ギャップ(*3)」が起こりにくいメリットがあると聞いています。一方、いじめが起きた場合、大げさに言えば9年間続くのではないかと心配になります。一貫教育のデメリットもしっかり研究し、両面をわかりやすく公表してほしいと思います。



使いやすい施設設備を
 和田春美さん(男衾)

男衾小学校と男衾中学校は隣接しているので、子どもが在学中から一貫した教育に期待していました。中学に上がるときの部活動の連携も考えてほしいです。建物だけではなく、校庭や周辺整備など児童・生徒が使いやすいよう検討してもらいたいです。



教育環境の一環として検討を
 長谷川弘幸さん(市街地)

親の目線からは、特定地域のこと、施設の老朽化や財源の問題と消極的にとらえず、町全体の教育環境の向上として多くの面から検討していただきたいと思っています。論議の過程をわかりやすく開示し、よい教育を受けるなら寄居町！と胸を張って言えるよう希望します。



一緒に学ぶことの効果活かし
 島田美津枝さん(男衾)

年齢差があり、大きな子と小さな子が一緒に学ぶことは大事です。いじめ対策にも、効果があると思います。学校は防災拠点としての活用も考えられるので、地域の声をよく聞いてほしいですね。地域全体で一貫教育を応援していきたいです。



11/7 テーマ「小中一貫教育」

視察報告

6校を統合した佐久穂小・中学校を視察



町内産の木材を使い、ゆったりしたつくりの校舎



長野県佐久穂町立佐久穂小・中学校は、小学校4校、中学校2校が統合し、平成27年4月に新たに開校した施設一体型の小中一貫教育校です。

地域代表・保護者等による検討委員会が組織され、23回の会議で検討し、平成20年に提言書を町に提出。提言書をもとに地区懇談会、保護者への説明、家庭へのアンケートを実施し、町の方向性として小・中学校の統合、統合新校舎の建設等を提示しました。

校舎は、普通教室を全て南側に配置。職員室や図書館は1室、特別教室は複数設置するなど一貫教育校として特徴的な施設となっています。また、スクールバス6台の運行で、遠距離通学者の送迎を行っています。

5年生から教科担任制を導入するなど、9年間を見通した指導カリキュラムで効果的・系統的指導を実施。小学校に英語科を設け、9年間の独自英語カリキュラムで担任とALTによるチームティーチングや体験を通じ、町に誇りを持ち、魅力を感じ、将来は町を担っていこうと考える人材を育てる「ふるさと学習」を実施。施設一体型のよさを生かした特色ある教育に取り組んでいるということでした。

委員会では、事業に取り組んでいる先進地の視察等、引き続き調査研究します。

【ことば】(*3) 中一ギャップ…小学生から中学1年生になったことがきっかけとなり、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが増加するという現象のことをいいます。